【技術の名称】 スーパーフープ －KH785を用いた溶接閉鎖型 高強度せん断補強筋－ (改定5)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-10号 改5 性能証明発効日：2014年8月5日 【取得者】 岸和田金属株式会社 岸和田製鋼株式会社 有限会社西山鉄網製作所 株式会社トーカイ 富田興業株式会社
--	---

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造等の柱、梁および柱梁接合部に用いる、岸和田金属株式会社が製造する785N/mm²級の高強度せん断補強筋（以下、スーパーフープと呼称する）である。スーパーフープは、岸和田製鋼株式会社が製造する国土交通大臣の認定取得の高強度せん断補強筋用異形棒鋼 KH785 を用いており、アプセット溶接による溶接閉鎖型のほかに、フック形式およびキャップタイ形式としても用いることができる。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第10-10号(2011年2月9日)
改定1：GBRC 性能証明 第10-10号 改(2011年9月27日)
- ・梁の短期損傷制御用許容せん断耐力式の変更
 - ・設計せん断力の割増係数の変更（技術基準解説書に準拠した終局強度設計に用いる設計せん断力の割増係数を平成19年国交省告示第594号第4と同じ値とした。）
- 改定2：GBRC 性能証明 第10-10号 改2(2013年1月22日)
- ・申込者の追加（有限会社西山鉄網製作所における溶接継手強度の検証試験の追加、および設計施工指針及び標準製造要領書の表記を変更）
- 改定3：GBRC 性能証明 第10-10号 改3(2013年8月8日)
- ・柱、梁の短期許容せん断耐力設計式の変更
 - ・終局せん断強度設計式を修正塑性式に変更
- 改定4：GBRC 性能証明 第10-10号 改4(2014年6月4日)
- ・申込者の追加（株式会社トーカイにおける溶接継手強度の検証試験の追加、および設計施工指針及び標準製造要領書の表記を変更）
- 改定5：GBRC 性能証明 第10-10号 改5(今回)
- ・申込者の追加（富田興業株式会社における溶接継手強度の検証試験の追加、および設計施工指針及び標準製造要領書の表記を変更）

【技術開発の趣旨】

高強度せん断補強筋は、鉄筋コンクリート造柱、梁等の過密配筋防止の観点から開発され、溶接閉鎖型せん断

補強筋は、フック形式よりも施工性が改善され、高い横拘束効果も期待でき、使用実績が多い。本技術は、これらの背景を踏まえ、申込者が独自に開発したものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

- 1) 申込者が提案する「スーパーフープ 標準製造要領書」に従って製造されたスーパーフープの溶接継手は、「2007年版建築物の構造関係技術基準解説書」の解説に示された平成12年5月31日建設省告示第1463号に基づく「溶接継手性能判定基準」によるA級継手と同等の性能を有する。
- 2) 申込者が提案する「スーパーフープ 設計施工指針」に従って設計・施工されたスーパーフープを用いた鉄筋コンクリート造柱、梁は、長期荷重時に使用上支障のあるひび割れ、および短期荷重時に修復性を損なうひび割れを起さず、同指針で定める終局耐力および変形性能を有する。

2.1 品質管理組織

岸和田金属(株)、(有)西山鉄網製作所、(株)トーカイ及び富田興業(株)は製造するスーパーフープの品質を保証するためにそれぞれ定期的に（月1回）品質管理委員会を開催し、品質の維持に努める。両社の品質管理組織及び品質保証体制を図2.1～2.6に示す。

2.2 スーパーフープの品質管理

岸和田金属(株)の本社工場、千葉工場、(有)西山鉄網製作所、(株)トーカイ及び富田興業(株)は1年に1回の頻度で自主監査を行い、それぞれの工場で品質管理体制に問題のないことを検証する。各社の自主監査項目を表2.1、表2.2に示す。各社の品質管理委員会はクレーム等を含む品質に係る情報を定期的に交換・共有し、品質管理に活用することとする。

【本技術の問合せ先】

岸和田製鋼株式会社 担当者：品質保証課長 辻井 武志 E-mail：ttsujii@kishi-seiko.co.jp
〒596-0013 大阪府岸和田市臨海町20 TEL：072-437-2330 FAX：072-436-2614